

地域公共交通を補完する新たな交通システムの導入検討について

経緯

鉄道、バス、タクシーなどの公共交通事業者にあつては、近年、運転手の人材確保や路線の維持等、公共交通サービスを維持・確保するために多くの課題に直面する中、利用者が求める公共交通サービスに対するニーズは日々変化し、多様化しています。

本市においても、循環バスや知多バスの利用に関する満足度は高いものの、昼間時間帯のダイヤや運行本数等の充実を求める意見が多くなっています。また、利用者が求める移動目的や到着時間等のニーズに応じた公共交通サービスの選択肢を増やすことは、利用者の利便性向上や、新たな公共交通利用者の発掘、さらには、地域全体の公共交通活性化にも繋がるものと考えられます。

そこで、現在策定中の「東海市地域公共交通計画」内の、基本方針2「地域特性に応じた移動ニーズを満たす公共交通サービスの提供」に係る事業として、地域公共交通を補完する新たな交通システムである「デマンド交通」の将来的な導入に向けた実証実験を検討するものです。

1 デマンド交通とは

デマンド交通とは、バスや電車などのようにあらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を走るのではなく、事前の利用予約に応じて、指定した時間及び停留所から、希望する目的地へ移動できる交通サービスのことです。

2 デマンド交通のメリット

路線バスや循環バスは、決められた路線を時刻表通りに運行するため、乗客の有無にかかわらず定時運行しなければなりません。デマンド交通は、決まった路線を通るのではなく、事前に電話等により利用申し込みのあった停留所を順次回りながら、それぞれの目的地で降ろすという「乗り合いタクシー」をイメージした効率的な交通システムとなります。

デマンド交通を導入することで、「停留所が遠い」「近くにバス停がほしい」「路線を増やしてほしい」など様々なニーズを補完することや、公共交通の選択肢が少ない地域の移動選択肢の拡充、また、タクシー等のドア・ツー・ドアによる個別輸送のメリットを再認識し、地域の公共交通利用の促進にも繋がります。

AI オンデマンド交通 イメージ図



3 デマンド交通実証実験によって検証すること

- (1) デマンド交通の安定的な運行・利用が見込める地域
- (2) デマンド交通を利用する年齢層や利用時間帯
- (3) 地域の他の公共交通機関との親和性

4 デマンド交通導入に向けて運営(運行)事業者に求めること

- (1) デマンド交通利用者の安定的な確保に向けて、導入する地域の構造に適した運行方式を提案し、運行効率と利用者の利便性が確保されたサービス提供を目指すこと。
- (2) デマンド交通に対する住民の理解を育むために、住民説明会等を実施するなど地域との関係を築き、一体となって地域公共交通としてのデマンド交通を育てていくスキームを確立していること。
- (3) 交通事業者が担う、移動交通に対する社会的役割や地域貢献の必要性を共有し、鉄道、バスとの接続など、交通ネットワーク全体の中でフィーダー（支線）としての役割を目指すもの。また、「料金面での競合回避」、「事業運行の連携」等、交通事業者との適切な関係を構築すること。
- (4) デマンド交通の安定的な事業運営のために、経費面だけではなく、収入面についても具体的なノウハウを有し、収益構造の健全化を提案できること。

5 デマンド交通の導入に向けたスケジュール

R5.8 現在

項 目	令和5年度												令和6年度		令和7年度	令和8年度	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～9月	10月～	4月～3月	4月～3月	
デマンド 交通導入 検討			第1回： 6/22 (木)		第2回： 8/28 (月)		第3回： 10/19 (木)		第4回： 12/21 (木)		第5回： 2/15 (木)		第1回～4回		第1回～4回		第1回～4回
					※デマンド 交通概要 説明		※デマンド交通 実証実験検討 事業者決定		※運行エリア 等の条件検討		※来年度 予算計上		※委託契約 締結				
事務局													住民説明会(仮) 周知期間・ 登録開始 12ヶ月	10月(仮) 有償実証 運行開始 12ヶ月	評価・検証	R8年度中 本格運行?	